

1. 電話サービスの利用条件

当社の端末回線と接続番号の分類による付加サービス等の利用条件は次の通りとします。

着信分類			発信端末					
			分類 1	分類 2	分類 3	分類 4	分類 5	分類 6
F O M A / X i	携帯電話	一般						
		衛星	第一種	一般				
		公衆				×		
	第二種	一般						
		公衆				×		

発信分類			着信端末						
			分類 1	分類 2	分類 3	分類 4	分類 6	分類 7	
F O M A / X i	携帯電話	一般							
		衛星	第一種	一般					
		公衆							
	第二種	一般							
		公衆							

凡例 : 利用出来る、 × : 利用出来ない、 : 一部利用できる

2. 主な付加機能の利用条件

FOMA / Xi サービスの主な付加機能の利用条件は次に示す通りとします。

付加機能の種類		対地域事業者 インタフェース	対移動体事業者 インタフェース	対国際事業者 インタフェース	対選択中継事業者 インタフェース
		分類 2		分類 7	
FOMA / Xi 着信	留守番電話及び不在案内機能				
	自動着信転送機能(転送でんわ)				
	通話中着信機能(キャッチホン)				
	迷惑電話おことわり機能(迷惑電話ストップサービス)				
	呼出音選択機能(メロディコール)			×	
	国際ローミング機能(ローミングアウト端末への着信)				
	複数番号機能(2in1、マルチナンバー)				
	ワンナンバー機能				

付加機能の種類		対地域事業者 インタフェース				対移動体事業者 インタフェース	対国際事業者 インタフェース
		分類 1	分類 3	分類 5	分類 6	分類 2	分類 4
FOMA / Xi 発信	留守番電話及び不在案内機能						
	自動着信転送機能(転送でんわ)			×			
	通話中着信機能(キャッチホン)						
	迷惑電話おことわり機能(迷惑電話ストップサービス)						
	呼出音選択機能(メロディコール)						
	国際ローミング機能(ローミングアウト端末への着信)						
	複数番号機能(2in1、マルチナンバー)						

凡例 : 利用出来る、 × : 利用出来ない、 : 一部利用できる、 斜線 : 対象外  
 注) 上表は、FOMA / Xi における利用条件であり、端末種別により利用条件が異なる場合があります。

### 3. テレビ電話の利用条件

当社FOMA端末とのテレビ電話の利用条件は次の通りとします。

#### (1) 64kテレビ電話接続時のI AM信号条件

##### ユーザサービス情報

フィールド名	Bin	フィールド値
コーディング標準	00	ITU-T勧告およびITU-T勧告に準拠するTTC標準
情報伝達能力	01000	非制限デジタル情報
情報伝達モード	00	回線交換モード
情報伝達速度	10000	64kbit/s
レイヤ識別	01	ユーザ情報レイヤ1プロトコル
ユーザ情報レイヤ1プロトコル	00110	標準JT-H223とJT-H245

##### アクセス転送

フィールド名	Bin	フィールド値
コーディング標準	00	ITU-T勧告およびITU-T勧告に準拠するTTC標準
情報伝達能力	01000	非制限デジタル情報
情報伝達モード	00	回線交換モード
情報伝達速度	10000	64kbit/s
レイヤ識別	01	ユーザ情報レイヤ1プロトコル
ユーザ情報レイヤ1プロトコル	00110	標準JT-H223とJT-H245

#### (2) 32kテレビ電話接続時のI AM信号条件

##### ユーザサービス情報

フィールド名	Bin	フィールド値
コーディング標準	00	ITU-T勧告およびITU-T勧告に準拠するTTC標準
情報伝達能力	01000	非制限デジタル情報
情報伝達モード	00	回線交換モード
情報伝達速度	10000	64kbit/s
レイヤ識別	01	ユーザ情報レイヤ1プロトコル
ユーザ情報レイヤ1プロトコル	00001	TTC標準速度整合(JT-V110、JT-I460及びJT-X30)
同期/非同期	0	同期
インバンド交渉	0	インバンド交渉不可
ユーザ速度	01100	32kbps標準JT-I460

##### アクセス転送

フィールド名	Bin	フィールド値
コーディング標準	00	ITU-T勧告およびITU-T勧告に準拠するTTC標準
情報伝達能力	01000	非制限デジタル情報
情報伝達モード	00	回線交換モード
情報伝達速度	10000	64kbit/s
レイヤ識別	01	ユーザ情報レイヤ1プロトコル
ユーザ情報レイヤ1プロトコル	00110	標準JT-H223とJT-H245

#### 4. インチャネル情報の利用条件

当社端末での応答信号受信前でのインチャネル情報の利用条件は次の通りとします。

##### A C M受信時

メッセージ種別	逆方向呼表示			端末利用条件	
	着ユーザ 状態表示	I S U P 1 リンク表示	I S D N アクセス表示	トーキ聴取	P B 送信
A C M	0 0	0	-		1
	1 0	1	0		
			1	×	×
	0 1	-	0		
			1		

##### A C M受信後のC P G受信時

メッセージ種別	イベント情報	アクセス転送	端末利用条件			
	イベント表示	経過識別子	トーキ聴取	P B 送信		
C P G	0 0 0 0 0 0 1	-				
	0 0 0 0 0 1 0	経過内容：8				
		経過内容：8以外	×	2	×	2
		アクセス転送未設定				
	0 0 0 0 0 1 1	-				
	上記以外	-				

凡例      : 利用出来る、× : 利用出来ない、      : 一部利用できる、- : 無関係

注) 上表は、端末種別により利用条件が異なる場合があります。

- 1 一部端末においてP B 送信不可
- 2 A C M受信時で利用出来る状態であれば利用出来る。